

【市内中小事業者の経営力向上に向けた取り組みを！】

■ デジタル技術を活用した経営効率化の促進を！



現在のような物価上昇局面では、企業にとっては生産性の向上、つまり「低賃金の労働力に頼らなくても、利益を確保できる企業体質に改善すること」が求められます。合わせて最低賃金の引き上げが経営課題の今、デジタル技術を活用した変革、DXによる経営効率化への啓発が必要と考えます。そこで、市内中小事業者や業界団体向けに、DXの必要性やメリットに気づいてもらうため、DXを促進するセミナーや勉強会を提案したところ、市民経済部長からは「DXを実現していく上では、経営者による理解や組織内の体制の構築が必要。今後、市内事業者のDXの取り組みを促進していくため、浦安商工会議所と連携し、セミナーの開催や、関連する情報の提供に努める」とありました。

一瀬 健二（いちせ けんじ）プロフィール

- 1971年4月 大分県生まれ
- 小学校2年時に埼玉県上尾市へ
- 大学進学を目指す中、新聞奨学生として予備校へ通う時期も
- 1993年4月 創価大学経営学部入学
- 1997年4月 三洋証券株式会社入社
就職時に浦安市の独身寮へ移住するも8ヶ月目に会社更生法を申請
両親はすでに他界しており引越と同時に転職
- 1998年4月 ヤマトシステム開発株式会社（YSD）入社
- 2004年11月 株式会社インターネットイニシアティブ（I I J）入社
- 2015年4月 浦安市議会議員選挙 初当選、2019年4月 2期目再選
- 総務・都市経済・教育民生常任委員会それぞれに所属し市政全般に携わる
- 千葉県浦安市東野在住 妻 長女 長男 次女の5人家族



・尊敬する政治家：田中正造
生涯を私心なく民のために奔走し続けた人物

公明党 いちせ 検索

皆様からの声をお聞かせ下さい！ 浦安市議会議員 一瀬健二

浦安市東野1-26-1-220
連絡先 080-9804-9734
Email: kichise4649@gmail.com
発行: いちせ健二 後援会



ご相談や
ご意見は
お気軽に！



LINE QRコード



INSTAGRAM



Twitter



ホームページ

公明党

2022年
秋号 Vol.25

いちせニュース



令和4年 9月議会 一般質問（要旨）

【コロナ禍における物価高・原油高および円安対策を！】

■ 市内事業者の実態把握から具体的な支援策を！



経済環境はこの半年で大幅な物価高・原油高と円安が進み、コロナ克服に努力を続けてきた市内事業者にとって、事業経営を圧迫するケースが生じています。政府は雇用調整助成金特例と、実質無利子・無担保融資を9月で終了させ、コロナ対策において出口政策への転換が垣間見えます。



そんな矢先、コロナ感染の第7波が再拡大し、自宅療養者は8月に全国で過去最多。市内感染者数も3桁が続き、予断を許さない状況が続きました。



そこで、市内事業者から浦安市へ寄せられている声と課題認識について質問したところ、市民経済部長からは「市内の事業者からは、コロナの影響による輸送需要の減少や公共交通機関の利用者減少等により、事業継続に向けた支援を求める要望書を頂いている。市内の景況感は全体的に回復傾向にはあるものの、原材料の価格高騰等による影響から、コロナ前の水準には届いておらず、依然として厳しい。感染拡大や原油高・物価高が長引く場合には、地域経済の回復や市内事業者の事業継続へ及ぼす影響を懸念している」とありました。

■ 物価高騰へ市の実態をふまえた交付金の活用を！

浦安市が置かれている環境や財政状況は大変厳しく、回復までは時間が必要です。令和4年度の下半期では、国からの物価高騰対策の追加交付金が検討されており、追加交付がされた時の現時点における用途の考え方を確認したところ、市長からは「先般、価格高騰の影響を受けた生活者や事業者への支援を目的に新たに創設された【電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金】は、本市の状況を踏まえ、物価高騰への対応として効果的に活用していく」との力強い答弁がありました。



【市民の声から継続的に取り組み、対策を実施しました】

■「まちを走る見守りカメラ」公用車へドライブレコーダー搭載！

平成27年9月議会および平成30年6月議会で、浦安市の公用車に防犯目的でドライブレコーダー搭載を提案。平成30年度から「まちを見守るカメラ」として【ドライブレコーダー録画中 浦安市】のステッカーを掲載して浦安のまちを見守っています。令和元年度をもって、全ての公用車（消防車を除く）への設置が完了しました。



■東野パティオとカーサ・セントリア間の道路を駐車禁止指定へ！

令和元年10月に東野1丁目の集合住宅カーサ・セントリアのマンション理事より、写真の赤点線の箇所が道路交通法上、駐車禁止になっていないため、駐車禁止に出来ないかとの相談を受けました。過去に警察へ通報した際には、

「当該道路は駐車禁止の扱いになっていないため取締が出来ない」との見解で理事側は対応に苦慮。即座に公明党のネットワークを使い県議会議員を通じて対策を要請。その結果、浦安警察署により標識が増設され、駐車違反車両へ取り締まりが強化されました。



■南小学校 学校わき十字路の雨水桝による水たまり解消！

自治会掲示板の雨水排水溝より水たまりの位置が低く、また雨天時には登下校中の児童たちが車道の水たまりで遊んでしまい、とても危ないとのこと相談。低い位置の側溝には小さな排水溝しかなく、落ち葉で詰まり水たまりが出来ておりました。

そこで、学校側の植栽せんで落ち葉を減らし、目詰まり対策を実施するとともに、ゲリラ豪雨時の雨水排水も期待できる雨水桝を新たに設置。安全ポールの設置も、児童の登下校の安全に役立っています。



■堀江ドック防潮堤を台風接近下では市独自の開閉が可能に！



旧江戸川流域において、堤防で堀江ドックの防潮堤（防潮ゲート）のように開放状態で出入り可能としているのはこの地点のみです。堀江ドックは千葉県施設で、台風等の災害予測がある時には千葉県は対応範囲が広く、堀江ドックの防潮堤を確実に閉じられる保証のないことが課題でした。東日本大震災を契機に、ゲート開閉を千葉県と正式に協定書を締結するよう、先代の公明党議員からの主張を継承し、令和元年12月議会で質問。このたび協定書の締結が完了したことにより、災害予測がある時には浦安市として迅速に対応できる体制整備が整いました。

■市内の全ての小学校で「地域安全マップ」の作成を推進！

子どもたちの防犯意識の向上のため、市内一部の小学校では地域の交通安全や防犯上の危険箇所等を把握するため【地域安全マップ】づくりが実施されておりました。そこで、市内全校で実施を推進することを平成30年6月議会で提案。その後、令和元年度から市内の全小学校で順次開始され、コロナ禍で子どもたちの教育環境に細やかに配慮しながら、防犯教育の一環として行われる運びとなりました。



■旧江戸川土手としおかぜ緑道を結ぶ横断歩道と安全対策を実施！

旧江戸川護岸整備事業の土手の遊歩道整備に合わせ、しおかぜ緑道と遊歩道を接続し、双方を結ぶジョギングロード整備を平成30年6月議会以降たびたび推進。千葉県および浦安警察署とて接続方法などについて協議がまとまり、横断歩道が敷設へ。また、土手沿いの市道3-1号線は、朝と夕方にスピード超過の車・バイクが多いとの声があり、平成27年の初当選以来、対策を主張。その結果、スピード抑制の看板と路面書きが沿道各所へ敷設されました。

